

復旧と一般公開について

- 平成28年熊本地震により倒壊した「洋学校教師ジェーンズ邸」は、R 4年度に工事完了し、R 5.9.1に一般公開を再開
- 復旧は、文化財の価値を損なうことのないよう、既存部材を可能な限り再利用し、これまでの仕様・工法に倣うことを基本として復旧
- さらに耐震補強を実施したうえで、外観は創建当時の古写真も参考に、被災前の姿に戻した



本震 被災状況 (正面)



本震 被災状況 (背面)



復旧したジェーンズ邸

洋学校教師ジェーンズ邸について

- 建物名称：洋学校教師館（県指定重要文化財（建造物））

明治4（1871）古城地区（現：第一高校敷地内）に
熊本洋学校教師ジェーンズの住宅として建築

明治9（1876）ジェーンズ帰国

明治10（1877）西南戦争の際、佐野常民が「博愛社
（日本赤十字社の前身）」設立の許可を受ける

明治26（1893）南千反畑町へ移設
→ 物産館、県立高等女学校の仮校舎、
捕虜収容所など

昭和7（1932）水道町へ移設
→ 日赤事務所、血液センターなど

昭和44（1969）日赤より譲渡され、熊本市が取得

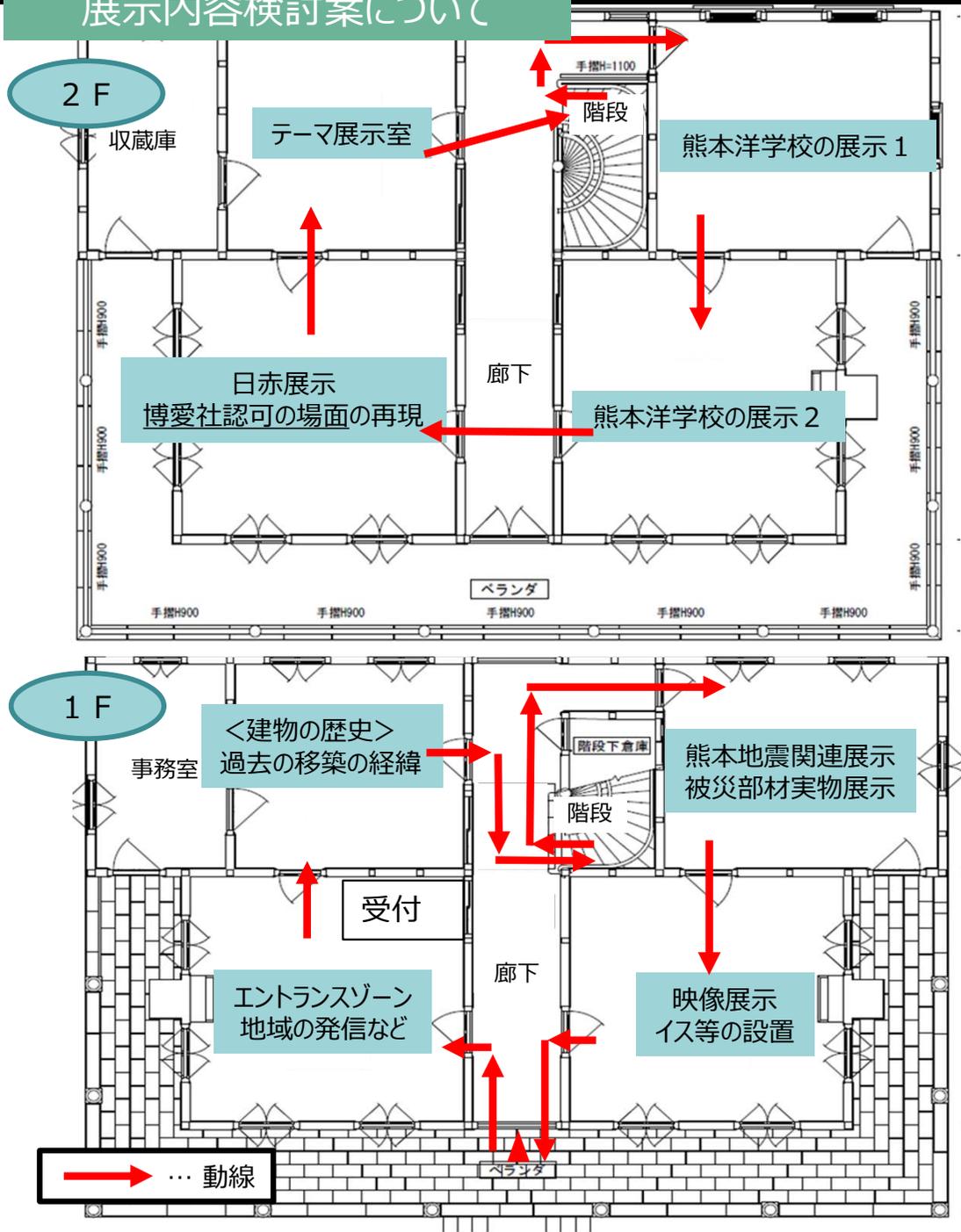
昭和45（1970）水前寺に移設

昭和46（1971）県の重要文化財に指定

令和5（2023）水前寺江津湖公園内に再建

洋学校教師ジェーンズ邸の復旧と一般公開について

展示内容検討案について



オープニングイベント

- 9.1（金）の一般公開にあわせ、水前寺地域やジェーンズの顕彰団体、庁内関係部署とともに1日～3日までオープニングイベントを開催
- オープニングイベントでは、ジェーンズ邸及び隣接する公園などにおいて、ステージイベントや食のイベントを開催するほか、夜間は水前寺成趣園とともにライトアップ



今後は、他の記念館も含めた映像コンテンツを制作するなど、記念館の認知度向上に資する事業を通じ、市民がより文化に触れる機会の創出を進めていく